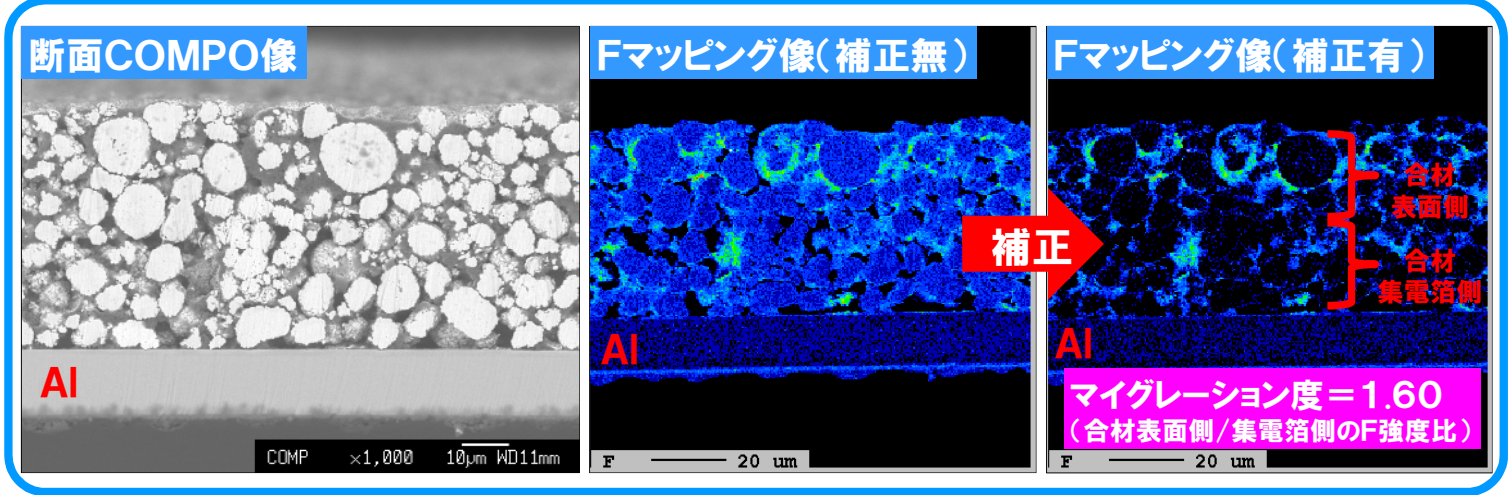


EPMAによるバインダー分布評価

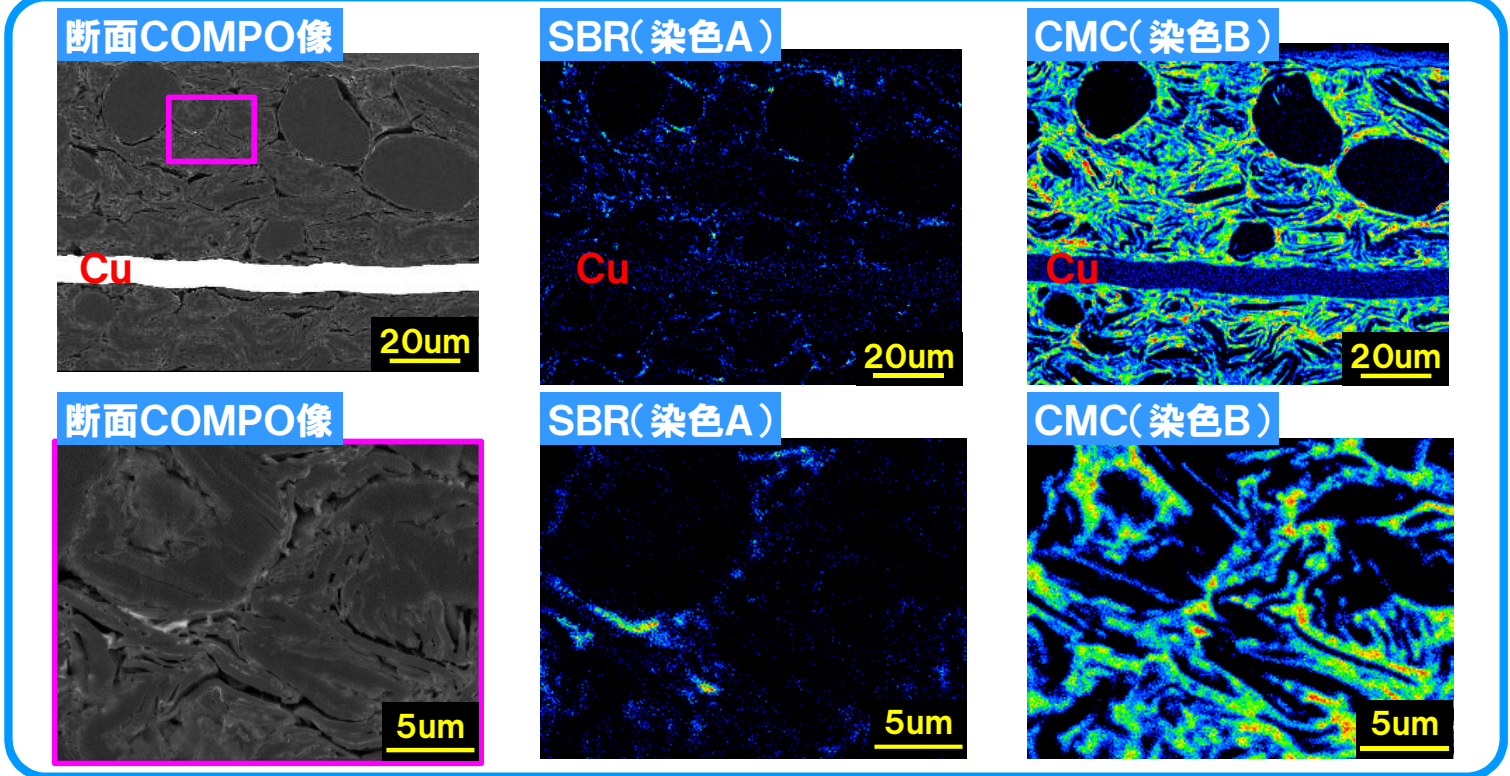
EPMAにより正負極のバインダー分布を可視化する事が可能。
さらに、数値解析によりバインダーのマイグレーション度を数値評価する事が可能。

■ LiNiMnCoO₂正極のバインダー※1分布評価+マイグレーション度算出(※1:ポリフッ化ビニリデン:PVDF)



- ・FのEPMAピークはCoのサブピークと重複するためF単独の分布を取得出来ないが、強度補正を行う事でFマッピングを得る事が可能である。
- ・F分布と数値解析により、バインダーがマイグレーションしていることが分かった。

■ グラファイト負極バインダー※2分布評価(※2:スチレンブタジエンゴム:SBR, カルボキシメチルセルロース:CMC)



- ・通常、SBR, CMCは特徴となる元素が無いいため、EPMAにて分布を確認する事が出来ないが、当社独自の前処理を実施する事で分布を確認する事が可能。
- ・本分析により、SBRとCMCの分布が異なることが分かった。

● PVDF, SBR, CMC等バインダーのマイグレーション評価が可能です。